2025年度

ネットワークセキュリティ科
講義計画集

― 第1学年 ―

氏名

船橋情報ビジネス専門学校
〒273-0005　船橋市本町7-12-16
電話:047-425-1051

2025年度　（令和7年度）　年間計画表

2025/3/13 現在

前　期

4月		5月		6月		7月		8月	
1 火		1 木	木4回 25N研修合宿	1 日		1 火	火11回	1 金	
2 水	新入生 オリエンテーション	2 金	金4回	2 月	月8回	2 水	木12回	2 土	
3 木		3 土	憲法記念日	3 火	火7回	3 木	木12回	3 日	
4 金	入学式	4 日	みどりの日	4 水	水8回	4 金	金13回 漢字検定①	4 月	
5 土		5 月	こどもの日	5 木	木8回	5 土		5 火	
6 日		6 火	振替休日	6 金	金9回	6 日		6 水	
7 月	始業式	7 水	水4回	7 土	**休館日**	7 月	月13回	7 木	
8 火		8 木	**月曜振替4回**	8 日		8 火	火12回	8 金	
9 水	前期スタート 水1回	9 金	金5回	9 月	月9回	9 水	水13回	9 土	
10 木	木1回	10 土	**休館日**	10 火	火8回	10 木	体育祭	10 日	
11 金	金1回	11 日		11 水	水9回	11 金	金14回	11 月	山の日
12 土		12 月	月5回	12 木	木9回	12 土		12 火	受付業務停止
13 日		13 火	火4回	13 金	金10回 駅前C	13 日		13 水	
14 月	月1回	14 水	水5回	14 土		14 月	月14回	14 木	
15 火	火1回	15 木	木5回	15 日	県民の日	15 火	火13回	15 金	
16 水	－	16 金	金6回 26卒就職G	16 月	月10回	16 水	水14回	16 土	
17 木	木2回	17 土		17 火	火9回	17 木	木14回	17 日	
18 金	金2回	18 日		18 水	水10回	18 金	金15回	18 月	
19 土	**休館日**	19 月	月6回	19 木	木10回	19 土		19 火	成績発表
20 日	国家試験	20 火	火5回	20 金	金11回	20 日		20 水	
21 月	月2回	21 水	水6回	21 土		21 月	海の日	21 木	
22 火	火2回	22 木	木6回	22 日		22 火	火14回	22 金	
23 水	水3回	23 金	金7回	23 月	月11回	23 水	水15回	23 土	同窓会
24 木	木3回	24 土		24 火	火10回	24 木	木15回	24 日	
25 金	金3回	25 日		25 水	水11回	25 金	金16回	25 月	
26 土	**休館日**	26 月	月7回	26 木	木11回	26 土		26 火	再試発表
27 日		27 火	火6回	27 金	金12回 26卒就職G	27 日		27 水	26卒就職G
28 月	月3回	28 水	水7回	28 土		28 月	前期試験 月15回	28 木	
29 火	昭和の日	29 木	木7回	29 日		29 火	火15回	29 金	
30 水	**火曜振替3回** 25N研修合宿	30 金	金8回	30 月	月12回	30 水	水16回	30 土	
		31 土				31 木	追試	31 日	

※新入生オリエンテーションで胸部レントゲン撮影実施

後　期

9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 月		1 水	水3回	1 土		1 月	月10回	1 木	元旦	1 日		1 日	
2 火		2 木	木4回	2 日		2 火	火10回	2 金		2 月	後期試験 月16回	2 月	27卒学内合説
3 水	FJB合同合宿	3 金	金4回	3 月	文化の日	3 水	水11回	3 土		3 火	火15回	3 火	
4 木	FJB合同合宿	4 土		4 火	火6回	4 木	木12回	4 日		4 水	追試	4 水	
5 金		5 日		5 水	水7回	5 金	金13回	5 月		5 木		5 木	卒業生登校日
6 土		6 月	月4回	6 木	木9回	6 土		6 火		6 金		6 金	卒業式
7 日		7 火	火3回	7 金	金9回 ひろえば船橋	7 日	ジョブパス	7 水		7 土		7 土	
8 月		8 水	水4回	8 土		8 月	月11回	8 木	木14回	8 日		8 日	
9 火		9 木	木5回	9 日		9 火	火11回	9 金	金14回	9 月		9 月	
10 水	後期スタート 水1回	10 金	金5回	10 月	月7回	10 水	水12回	10 土		10 火		10 火	
11 木	木1回	11 土		11 火	火7回	11 木	木13回	11 日		11 水	建国記念の日	11 水	
12 金	金1回	12 日	国家試験	12 水	水8回	12 金	27卒就職G	12 月	成人の日	12 木	卒業研究発表会	12 木	
13 土		13 月	スポーツの日	13 木	木10回	13 土		13 火	火12回	13 金	卒業研究発表会	13 金	終業式
14 日		14 火	火4回	14 金	金10回	14 日		14 水	水13回	14 土		14 土	
15 月	敬老の日	15 木	水5回	15 土	26卒就職G(保護者)	15 月	27卒就職G	15 木	**月曜振替12回**	15 日		15 日	
16 火	火1回	16 木	木6回	16 日		16 火	27卒就職個人面談	16 金	金15回	16 月	27卒就職G	16 月	
17 水	**月曜振替1回**	17 金	金6回	17 月	月8回	17 水	27卒就職個人面談	17 土		17 火	27卒Web面接練習	17 火	
18 木	木2回	18 土		18 火	火8回	18 木	27卒就職個人面談	18 日		18 水	卒業生成績発表	18 水	
19 金	金2回	19 日	漢字検定②	19 水	水9回	19 金	27卒就職個人面談	19 月	月13回	19 木	在校生成績発表	19 木	
20 土		20 月	月5回	20 木	木11回	20 土		20 火	火13回	20 金		20 金	春分の日
21 日		21 火	火5回	21 金	金11回	21 日		21 水	水14回	21 土		21 土	
22 月	月2回	22 水	水6回	22 土		22 月	27卒就職個人面談	22 木	木15回	22 日		22 日	
23 火	秋分の日	23 木	木7回	23 日	勤労感謝の日	23 火	27卒就職個人面談	23 金	金16回 漢字検定③	23 月	天皇誕生日	23 月	
24 水	水2回	24 金	金7回	24 月	振替休日	24 水		24 土		24 火		24 火	
25 木	木3回	25 土	若幸祭前日準備	25 火	火9回	25 木		25 日		25 水		25 水	
26 金	金3回 26卒就職G	26 日	若幸祭当日	26 水	水10回	26 金		26 月	月14回	26 木	球技大会	26 木	プレスクール
27 土		27 月	若幸祭振替休日	27 木	**月曜振替9回**	27 土	受付業務停止	27 火	火14回	27 金	再試発表	27 金	
28 日		28 火	若幸祭振替休日	28 金	金12回	28 日		28 水	水15回	28 土		28 土	保護者説明会
29 月	月3回	29 水	**月曜振替6回**	29 土		29 月		29 木	木16回			29 日	
30 火	火2回	30 木	木8回	30 日		30 火		30 金	後期試験 月曜振替15回			30 月	
		31 金	金8回			31 水		31 土				31 火	

※台風など臨時休校が多い時は12月3週で対応

※26卒入社前講話

※27卒IIT,CHISA合説

※年間講義回数

月	31回
火	30回
水	31回
木	31回
金	32回

1学年

本校の教育方針 …… 1
評価について／出欠席ルール …… 3
FJBネットID登録とメールアドレス …… 4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー …… 4
個人情報保護に関する基本方針 …… 5
教育目標と検定スケジュール …… 6

シスコネットワーキング演習Ⅰ・Ⅱ …… 7
ビジネス実務 …… 9
テクノロジ …… 10
ストラテジとマネジメント …… 11
データベース …… 12
検定対策Ⅰ・Ⅱ …… 13
プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ …… 15
就職講座A …… 17
情報セキュリティ …… 18
就職講座B …… 19
Office演習Ⅰ・Ⅱ …… 20
自己啓発Ⅰ・Ⅱ …… 22
社会人基礎力Ⅰ・Ⅱ …… 24

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校　長　　鳥　居　高　之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいるからです。しかし２年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。２年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の２つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

３つの守り

本校がとても大切にしている３つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

（１）バイク・自動車通学全面禁止。

（２）自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

（１）学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。

（２）授業開始前および終了後の５分間は使用禁止。（教員優先）

（３）３号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※路上はもちろん、駐車場やマンション共用部などの私有地での喫煙は地域の方に大変な迷惑をかけることになります。

絶対にやめてください。（懲戒処分の対象となります）

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され過料(2,000円)の対象です

交通ルール

３号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

－

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。　takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

（１）評価とは成績証明書にＳ～Ｄで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
（２）評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。（点または%）

Ｓ　　９０以上
Ａ　　８０～８９
Ｂ　　５０～７９
Ｃ　　４０～４９
Ｄ　　３９以下

（３）評価Ｄの者は、単位未修得者として処理される。
（４）評価Ｄの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はＣとする。（特別な努力が認められたものは、Ｂ評価になることもある。）

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り
科目の評価（S～Dの5段階）に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)
に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、
少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。
なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの
科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。
GPA＝【GP　×　履修科目の単位数】の合計　/　履修科目の総単位数

出欠席ルール

（１）遅刻３回で欠課１回、欠課６回（１年生はSHR分の遅刻１回を含む）で１日の欠席とみなし、次の条件で換算する
・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻１」※SHRは１年生のみ
・授業開始15分までの入室で「遅刻１」
・授業開始15～45分までの入室で「欠課１」
・授業開始45～60分までの入室で「欠課１＋遅刻１」
※90分授業の前半45分の欠課１、後半15分までの遅刻１という考え方でカウントする
・授業開始60分以降の入室で「欠課２」
（２）年間５５日の欠席で進級停止、退学勧告。
（３）交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積１０日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積１０日になった時点で行う。
3	累積２５日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積２５日になった時点で行う。
4	累積４０日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積５０日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積５５日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・１ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する
（１）履修した全ての科目において単位修得していること
（２）原則として各年度において年間55日以上の欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

１．ユーザID登録について

本校では、学生１人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

２．メールアドレスについて

（１）科によってメールアドレスが設定されています。
　　詳細は担任から説明があります。

（２）「ＦＪＢインターネット＆イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

（３）Ｗｅｂメールでの各個人に与えられている容量は５０ＭＢまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

３．緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。（スマートフォンでも使用可能）各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

１．実習室の放課後開放について

放課後、午後６時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

２．実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

３．本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のＣＤ－ＲＯＭを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

４．ＵＳＢなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

５．実習ファイルを保存するための領域をＩドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

６．インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。ＨＰやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

７．インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。
また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園　船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

１．個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。

２．個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。

３．取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
（１）本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
（２）就職指導、企業
（３）入学相談および募集活動を行うため
（４）入学選考試験業務を行うため
（５）各種証明書等の発行業務を行うため
（６）上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため

４．本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
（１）在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
（２）在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
（３）学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
（４）職業紹介で応募を希望する求人先に対し、応募情報の提供
（５）職業紹介で求職者に開示の許諾を得た業務提携先に対し、応募情報の提供
（６）就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
（７）本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
（８）上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合

５．上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。

６．以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長　鳥居　高之
０４７－４２５－１０５１
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

教育目標と検定スケジュール

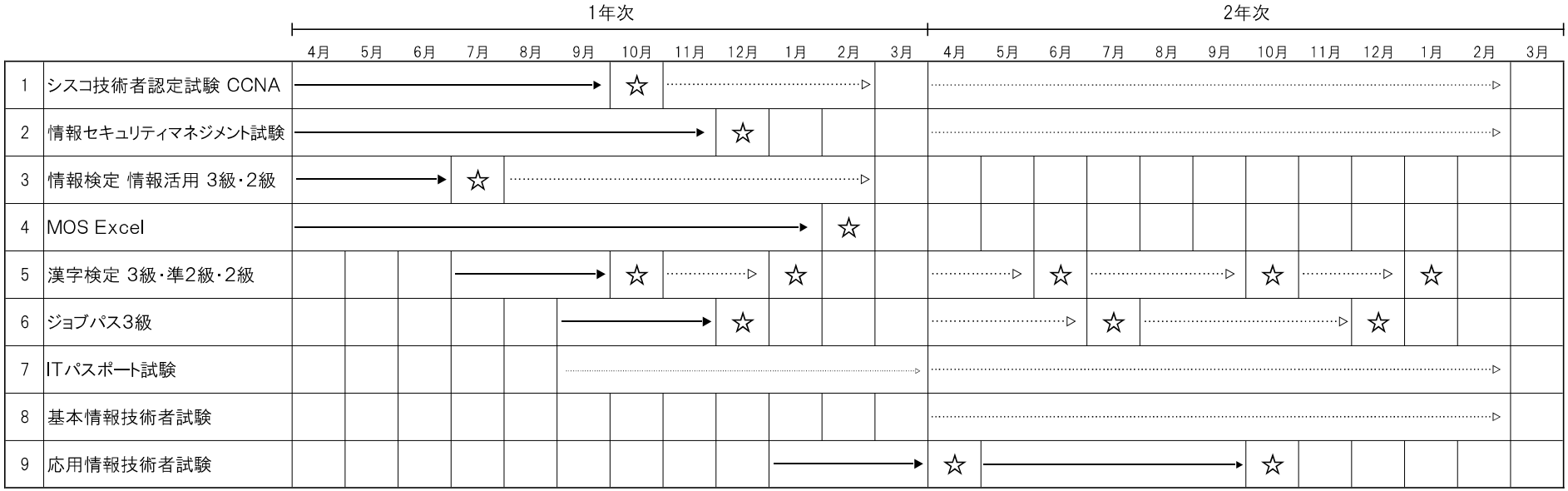
ネットワークセキュリティ科

教育目標	・ネットワーク構築、サーバ構築及び運用管理を行える人材の育成 ・情報処理基礎技術の修得 ・社会人として必要な能力の養成 （コミュニケーション能力,プレゼンテーション能力）
目標資格	・シスコ技術者認定試験 ＣＣＮＡ ・情報セキュリティマネジメント試験 ・ＩＴパスポート試験 ・基本情報技術者試験 ・応用情報技術者試験
進級条件	・漢字検定３級 ・ジョブパス３級
卒業条件	・卒業制作

基本方針
①自ら調べ、考えながら問題を解決する能力や姿勢を身につける
②コミュニケーション能力を育成する
③１年次は資格取得、２年次は実技面を育成する

１年次
①インフラエンジニアとしての資格合格を目指す
CCNA,情報セキュリティマネジメント試験
②社会人基礎資格の取得
漢検3級,ジョブパス3級,J検3級,MOS/Excel
③コンピュータ基礎力を育成する
④プログラミングの基礎学習を行う
⑤ビジネス能力の向上、就職対策を行う

２年次
①インフラエンジニアとしての技術習得を目指す
Linuxサーバ構築,ネットワーク構築,データベース,PHP
②プロジェクト管理力・プレゼンテーション力を身につける
③プログラミングの応用演習を行う
④Officeを利用した応用演習を行う



ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	シスコネットワーキング演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	本校のオリジナルテキスト シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト＆問題集（翔泳社）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	20%	0%	0%	50%	0%	30%	100%

単位数	8

1. 授業の概要

シスコ・ネットワーキングアカデミーのカリキュラムをベースに、ネットワーク技術者に必要とされる知識と技能を修得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

シスコ技術者認定（CCNA）試験に合格する。

3. 注意点・要望

復習をしっかりと行こない授業内容を理解した状態で授業に参加する。

4. 関連科目

－

週	テーマ	内　容
1	ネットワークの基礎用語と2進数	ネットワークとは（トラフィック、スループット、帯域幅など基礎用語の確認） 2進数の演算（0～255までの10進数と2進数を相互変換できるようにする）
2	OSI参照モデル	OSI参照モデルの概要とカプセル化の流れ、ネットワークトポロジとネットワーク機器
3	レイヤ1	メディア（ケーブル）の種類と特徴、各機器の接続。コリジョン（衝突）とコリジョンドメイン
4	レイヤ2	MACアドレス、フレームの書式と役割、レイヤ2スイッチとブリッジ コリジョンドメインの分割、全二重通信と半二重通信
5	レイヤ3(1)	ルーティングの動作　IPアドレスとMACアドレスの役割の違い
6	レイヤ3(2)	IPアドレッシング（IPアドレスの理論、IPアドレスの計算）
7	レイヤ3(3)	IPアドレッシング、ルーティングプロトコル、IPのコンポーネント（ARP、RARP、ICMP）
8	レイヤ4	TCPとUDP、トランスポート層の役割
9	レイヤ5～7	セッション層・プレゼンテーション層の概要、アプリケーション層のプロトコル
10	Ciscoルータの基本設定	ルータ実習（各種設定コマンド）・・・Packet Tracerを使用した実習を行う
11	Cisco機器の管理	ルータの記憶装置と各種管理用コマンド
12	スイッチングテクノロジ	スイッチの動作と基本設定、フレーム転送方式
13	ルーティング、ACL	各種ルーティングの設定コマンド、ACL
14	DHCP、PAT	DHCPの概要、NAT（静的NAT、動的NAT、PATの設定）
15	VLAN	VLANの概要、VLANを使ったネットワーク構成
16	前期試験期間	効果測定

備　考	IT業界でシステムエンジニアを経験した教員が、その経験に基づいた講義を行う

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	シスコネットワーキング演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	本校のオリジナルテキスト シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト＆問題集（翔泳社）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	20%	0%	0%	50%	0%	30%	100%

単位数	6

1. 授業の概要

シスコ・ネットワーキングアカデミーのカリキュラムをベースに、ネットワーク技術者に必要とされる知識と技能を修得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

シスコ技術者認定（CCNA）試験に合格する。

3. 注意点・要望

復習をしっかりと行こない授業内容を理解した状態で授業に参加する。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	STP、ファーストホップ冗長化	STP、RSTPの動作、HSRP、VRRP、GLBPの特徴と動作
2	OSPF	OSPF、OSPFv3の特徴、トラブルシューティングにおける着目点
3	EtherChannel	EtherChannelの概要、基本設定
4	IPv6	IPv6概要
5	WAN	PPP、PPPoE、VPN、IPSec、DMVPN
6	インフラストラクチャ(1)	クラウドサービスの概要、ネットワークの仮想化、ワイヤレスLAN
7	インフラストラクチャ(2)	Syslog、NetFlow
8	インフラストラクチャ(3)	IP SLA、IEEE802.1x、AAA、RADIUS、TACACS+、SPAN
9	セキュリティ	攻撃手法、認証
10	ネットワーク自動化とSDN(1)	データプレーン、コントロールプレーン
11	ネットワーク自動化とSDN(2)	SDNの概要、SDN実装手段
12	SNMP、トラブルシューティング	SNMPv1、SNMPv2c、SNMPv3、トラブルシューティング概要
13	CCNA受験対策(1)	確認テスト
14	CCNA受験対策(2)	見極めテスト
15	CCNA受験対策(3)	模擬試験
16	後期試験期間	効果測定

備　考	IT業界でシステムエンジニアを経験した教員が、その経験に基づいた講義を行う

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	ビジネス実務	分　類	教養科目、必修科目
担　当	高橋　豊		
テキスト（出版社）	2025年版　ビジネス能力検定ジョブパス3級　公式テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	70%	0%	0%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

社会人にとって必要な仕事・人間関係・マナーなどのビジネス能力の基礎を学び、実務に即した知識技能を身につける。

2. 授業の目標（検定取得など）

ビジネス能力検定ジョブパス3級

3. 注意点・要望

プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	導入・概要 仕事と社会人としての意識	ビジネス実務と授業の概要を把握する。 仕事への取り組み方を学び、社会人を意識する。
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、 実践できるようにする。
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める。
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効率的な仕事の進め方を理解する。
5	指示・報告・連絡・相談	指示の受け方と報告や連絡、相談のポイントとそのやり方を学ぶ。
6	話し方と聞き方、敬語	ビジネスにふさわしい話し方、言葉遣いを敬語の使い方と共に学ぶ。
7	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアから情報収集力を養う。
8	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う。
9	検定対策(1)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。(1)
10	検定対策(2)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。(2)
11	検定対策(3)	ビジネス能力検定ジョブパスの問題演習・解説を行う。(3)
12	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、 スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ。
13	ビジネス文書(1)	ビジネス文書が果たす役割に関して考察する。 ビジネス文書の種類とその特徴を理解する。
14	ビジネス文書(2)	社外文書・社内文書を理解し、その書き方を学ぶ。
15	ビジネスケース(1)	仕事の取り組みに関するケースを踏まえて、ビジネスの問題解決を図る。
16	ビジネスケース(2)　まとめ	営業、接客、訪問なのでに関するケースを踏まえて、ビジネスの問題解決を図る。 これまでの授業のまとめ。

備　考	–

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	テクノロジ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	加藤　尚喜		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター 令和7-8年度版 基本情報技術者試験 対策テキスト（FOM出版）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

情報処理におけるテクノロジ分野を中心に講義を行い、基礎知識を学習する。

2. 授業の目標（検定取得など）

情報セキュリティマネジメント試験及び情報検定に合格するための基礎知識を習得し、ITエンジニアとしての知識の土台を作る。

3. 注意点・要望

情報処理の基礎となる科目であるので、特に復習に重点を置いて学習すること。

4. 関連科目

－

週	テーマ	内　容
1	オリエンテーション 基礎理論(1)	授業の目標、進め方及び評価方法の確認 離散数学(数と表現、集合、論理演算)
2	基礎理論(2)	応用数学、情報に関する理論、通信に関する理論、計測・制御に関する理論
3	アルゴリズムとプログラミング(1)	データ構造、アルゴリズム
4	アルゴリズムとプログラミング(2)	プログラミング、プログラム言語、その他の言語
5	コンピュータ構成要素	プロセッサ、メモリ、バス、入出力デバイス、入出力装置
6	システム構成要素	システムの構成、システムの評価指標
7	ソフトウェア	オペレーティングシステム、ミドルウェア、ファイルシステム、開発ツール、 オープンソースソフトウェア
8	ハードウェア	電気・電子回路、機械、制御、構成部品及び要素と実装、論理設計、消費電力
9	ユーザーインタフェース	ユーザーインタフェース技術、UX/UIデザイン
10	情報メディア	マルチメディア技術（音声・静止画・動画処理、情報の圧縮・伸長）、 マルチメディア応用(グラフィックス処理、仮想現実、拡張現実など)
11	データベース	データベース方式、データベース設計、データ操作、トランザクション処理、 データベース応用
12	ネットワーク(1)	ネットワーク方式、データ通信と制御
13	ネットワーク(2)	通信プロトコル、ネットワーク管理、ネットワーク応用
14	システム開発技術	要件定義、実装・構築、統合・テスト、導入・受入れ支援、保守・廃棄
15	ソフトウェア開発管理技術	開発プロセス・手法、知的財産適用管理、開発環境管理、構成管理・変更管理
16	前期試験期間	－

備　考	－ 情報セキュリティ担当者として勤務経験のある教員が、実務経験を活かして講義を行う。

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	ストラテジとマネジメント	分　類	専門科目、必修科目
担　当	加藤　尚喜		
テキスト（出版社）	よくわかるマスター 令和7-8年度版 基本情報技術者試験 対策テキスト（FOM出版）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

情報処理におけるストラテジ・マネジメント分野を中心に講義を行い、基礎知識を習得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

情報セキュリティマネジメント試験及び情報検定に合格するための基礎知識を習得し、ITエンジニアとしての知識の土台を作る。

3. 注意点・要望

情報処理の基礎となる科目であるので、特に復習に重点を置いて学習すること。

4. 関連科目

－

週	テーマ	内　容
1	システム戦略(1)	システム戦略(情報システム戦略、業務プロセス、ソリューションビジネスなど)
2	システム戦略(2)	システム企画(システム化計画、要件定義、調達計画・実施など)
3	経営戦略(1)	経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメントなど
4	経営戦略(2)	ビジネスインダストリ(ビジネスシステム、エンジニアリングシステム、e-ビジネス、IoT、組込みシステムなど)
5	企業と法務(1)	企業活動(経営・組織論、業務分析・データ利活用)
6	企業と法務(2)	企業活動(会計・財務)
7	企業と法務(3)	法務(知的財産権、労働関連・取引関連法規、標準化関連など)
8	プロジェクトマネジメント(1)	プロジェクトマネジメントの目的と考え方 プロジェクトマネジメントの知識エリア(1)
9	プロジェクトマネジメント(2)	プロジェクトマネジメントの知識エリア(2)
10	サービスマネジメント	サービスマネジメント(意義・特徴、ITIL、サービスレベル合意書)、 サービスマネジメントシステム、ファシリティマネジメントなど
11	システム監査	システム監査、内部統制(ITガバナンス、ITマネジメント)
12	情報処理技術者試験対策(1)	情報セキュリティマネジメント試験 科目A問題・科目B問題演習(1)
13	情報処理技術者試験対策(2)	情報セキュリティマネジメント試験 科目A問題・科目B問題演習(2)
14	情報処理技術者試験対策(3)	情報セキュリティマネジメント試験 科目A問題・科目B問題演習(3)
15	情報処理技術者試験対策(4)	情報セキュリティマネジメント試験 科目A問題・科目B問題演習(4)
16	後期試験期間	－

備　考	－ 情報セキュリティ担当者として勤務経験のある教員が、実務経験を活かして講義を行う。

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	データベース	分　類	専門科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	スッキリわかる SQL入門　第4版（株式会社インプレスジャパン）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

SQLやリレーショナルデータベースマネージメントシステムについて学ぶ。

2. 授業の目標（検定取得など）

基本的なSQLの習得と、専門用語の理解を目標とする。

3. 注意点・要望

お互いに教え合いながら進めることを推奨する。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	データベースについて	データベースの説明と授業で使うソフトウェアの確認
2	基本文法と4大命令(1)	SELECT命令、INSERT命令の文法
3	基本文法と4大命令(2)	UPDATE命令、DELETE命令の文法
4	確認課題(1)	基本文法と4大命令の内容について確認
5	操作する行の絞り込み(1)	WHERE句による絞り込み、条件式の書き方、比較演算子について
6	操作する行の絞り込み(2)	複数の条件式を書く場合、主キーについて
7	確認課題(2)	操作する行の絞り込みについて確認
8	検索結果の加工	DISTINCT、ORDER BY、集合演算子を使った検索結果の加工
9	確認課題(3)	検索結果の加工の内容について確認
10	式と関数、集計とグループ化	式、演算子、関数の確認、データ集計方法の確認
11	副問い合わせ、テーブルの結合	副問い合わせの使い方、テーブルの結合
12	テーブルの作成(1)	CREATE命令、DROP命令、制約について
13	テーブルの作成(2)	外部キーと参照整合性について
14	確認課題(4)	総復習(1)
15	確認課題(5)	総復習(2)
16	確認課題(6)	総復習(3)

備　考	IT業界でシステムエンジニアを経験した教員が、実務経験を活かしてデータベースの基本操作などを指導する

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	検定対策Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	関連科目のテキストを使用		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	40%	30%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

CCNA、情報セキュリティマネジメント試験、ITパスポート試験、MOS Excel、情報検定、漢字検定、ジョブパスに合格するための学習を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

各種検定試験に合格する。

3. 注意点・要望

各種検定試験を並行して学習するため、スケジュール管理を徹底する。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	CCNA、国家試験、漢字検定対策(1)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(1)
2	CCNA、国家試験、漢字検定対策(2)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(2)
3	CCNA、国家試験、漢字検定対策(3)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(3)
4	CCNA、国家試験、漢字検定対策(4)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(4)
5	CCNA、国家試験、漢字検定対策(5)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(5)
6	CCNA、国家試験、漢字検定対策(6)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(6)
7	CCNA、国家試験、漢字検定対策(7)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(7)
8	CCNA、国家試験、漢字検定対策(8)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(8)
9	CCNA、国家試験、漢字検定対策(9)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(9)
10	CCNA、国家試験、漢字検定対策(10)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(10)
11	CCNA、国家試験対策(1)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(11)
12	CCNA、国家試験対策(2)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(12)
13	CCNA、国家試験対策(3)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(13)
14	CCNA、国家試験対策(4)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(14)
15	CCNA、国家試験対策(5)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(15)
16	前期試験期間	–

備　考	IT業界でシステムエンジニアを経験した教員が、実務経験を活かして各種検定試験の講義・対策をする

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	検定対策Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	関連科目のテキストを使用		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	40%	30%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

CCNA、情報セキュリティマネジメント試験、ITパスポート試験、MOS Excel、情報検定、漢字検定、ジョブパスに合格するための学習を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

各種検定試験に合格する。

3. 注意点・要望

各種検定試験を並行して学習するため、スケジュール管理を徹底する。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(1)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(1)
2	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(2)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(2)
3	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(3)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(3)
4	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(4)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(4)
5	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(5)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(5)
6	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(6)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(6)
7	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(7)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(7)
8	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(8)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(8)
9	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(9)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(9)
10	CCNA、国家試験、ジョブパス対策(10)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(10)
11	MOS Excel対策(1)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(11)
12	MOS Excel対策(2)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(12)
13	MOS Excel対策(3)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(13)
14	MOS Excel対策(4)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(14)
15	MOS Excel対策(5)	関連科目の講義内容の復習、問題演習(15)
16	後期試験期間	–

備　考	IT業界でシステムエンジニアを経験した教員が、実務経験を活かして各種検定試験の講義・対策をする

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	プログラミング演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	橘　純平		
テキスト（出版社）	スッキリわかるJava入門(impress)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	40%	0%	0%	30%	100%

単位数	4

1. 授業の概要

Java言語の基本的な使い方や基本制御構造、開発環境などについて学習する。

2. 授業の目標（検定取得など）

プログラムの作成、解読、エラーやバグなどの解析能力を身につける。

3. 注意点・要望

失敗は当然なので、恐れずに取り組むこと。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	導入	Java言語の特徴、動作環境と開発環境、Eclipseを使ったプログラミング方法、 プログラムを記述する際のルールを学習する
2	Javaの基本	プログラムの構造、コメントの書き方、文字列の扱い方、画面出力の方法
3	変数	整数、実数、論理値などの基本データ型と、データを扱うための変数
4	式と演算子	加減乗除など代表的な演算子と、インクリメントやデクリメント、 演算の優先順位について
5	変数とキーボード入力	変数とキーボードから入力した値を扱う
6	分岐処理(1)	if文を使った分岐処理
7	分岐処理(2)	関係演算子と等価演算子、if～else文
8	分岐処理(3)	if文を使った複数の分岐処理と、switch文による分岐処理
9	繰り返し処理(1)	while文を使った繰り返し処理
10	繰り返し処理(2)	for文を使った繰り返し処理
11	配列(1)	配列とは 配列の宣言と配列の利用方法
12	配列(2)	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
13	配列(3)	多次元配列
14	授業課題(1)	Java言語を用いた課題(1)
15	授業課題(2)	Java言語を用いた課題(2)
16	前期試験期間	効果測定

備　考	–

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	プログラミング演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	橘　純平		
テキスト（出版社）	スッキリわかるJava入門(impress)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	40%	0%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

オブジェクト指向プログラミングについて学び、基礎能力の向上を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

アルゴリズムとともに理解し、独力で開発をできる力を身につける。

3. 注意点・要望

失敗は当然なので、恐れずに取り組むこと。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	クラス	オブジェクト指向の考え方、クラスの構造と作成方法
2	フィールド	フィールドの概要について
3	メソッド	メソッドの構造と作成方法、メソッドの呼び出し方を学習する
4	インスタンス	クラスとインスタンス生成について
5	メソッドの引数	メソッドの引数について
6	メソッドの戻り値	メソッドの戻り値について
7	カプセル化(1)	カプセル化の目的とJavaでの実装方法を学習する
8	カプセル化(2)	ゲッターセッターの詳細と自動生成方法について
9	クラス図(1)	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成(1)
10	クラス図(2)	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成(2)
11	コンストラクタ(1)	コンストラクタの概要と使い方について(1)
12	コンストラクタ(2)	コンストラクタの概要と使い方について(2)
13	インスタンス配列	インスタンスの考え方
14	アプリケーション作成演習(1)	Java言語を用いたアプリケーション開発(1)
15	アプリケーション作成演習(2)	Java言語を用いたアプリケーション開発(2)
16	後期試験期間	効果測定

備　考	–

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	就職講座A	分　類	教養科目、必修科目
担　当	田邊　悦子・遠藤　幹雄		
テキスト（出版社）	–		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	30%	40%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

就職活動の流れを知り、自己分析や企業研究ができる力を身につける。
内定をいただくためにやるべきこと、必要なことを考える。

2. 授業の目標（検定取得など）

①自分を知る。　②企業を知る。　③準備をする。　④不安を減らす。

3. 注意点・要望

授業課題は、①履歴書　②メール　③面接&エントリーシート対策ファイル　④報告書　等で評価。
就職活動は教室で完結するものではないので、実際の活動やイベントへの参加も平常点として加味します。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	就職活動の流れ	ともに働きたい人、新卒の就職活動、新卒採用の特権、就職活動スケジュール 授業の目的、就職指導室の利用、Teamsの利用、学科担当教員の紹介
2	企業が求める人物像	グループディスカッションのポイントと実践、専門学校生の武器 就職活動用フォルダ作成
3	内定までの流れ＆エントリーの準備	内定までの流れ、就職活動支援サイト、自己分析 求人票検索システムの使い方、就職活動時の手続き
4	企業とのやりとり	主な提出書類、方法、注意事項、メールの基本、電話の基本
5	履歴書の作成	書き方のポイント、企業への提出方法、学校指定フォーマットでの履歴書作成
6	企業研究のポイント（1）	業種動向、企業の取引形態、職種とは、業界・企業研究の資料、企業名称
7	企業研究のポイント（2）	求人票、自己申告書・青少年雇用情報シート、自己申告書
8	企業研究のポイント（3）	SIerの分類、SIerの職種、IT系以外の職種
9	面接＆エントリーシート対策	メラビアンの法則、ハロー効果、自己PR・ガクチカ作成のポイント 対策シートの活用
10	面接試験（1）	挨拶の基本、身だしなみ、対策動画の視聴、Web面接に必要な準備
11	求職登録、就活支援サイトの活用 学校求人の確認	就職先の希望、必要となる条件等のアンケート、2027卒向け求人票の確認 就活支援サイト「マイナビ」の使い方
12	面接試験（2）	面接試験の種類、面接の流れと評価のポイント、面接試験前、面接室、終了後
13	これまでの準備と成果物の整理	履歴書、面接＆エントリーシート対策ファイル（ガクチカ、自己PR）
14	志望動機の作成	仕事のやりがい、企業研究の目的、志望動機のポイント 企業研究と併せて必要なこと
15	春休み期間中の活動に向けて	どうすればよい？　できる？できてる？　学内合同企業説明会参加企業の紹介

備　考	IT関連の業務経験と就職指導経験のある職員（職業紹介責任者）が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	情報セキュリティ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	加藤　尚喜		
テキスト（出版社）	徹底攻略 情報セキュリティマネジメント教科書 令和7年度（インプレス）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

情報セキュリティ分野を中心に講義を行い、情報セキュリティの基礎知識を習得する。

2. 授業の目標（検定取得など）

情報セキュリティマネジメント試験に合格するための基礎知識を習得し、ITエンジニアとしての知識の土台を作る。

3. 注意点・要望

ITだけでなく日常生活全般に深く関わっている科目であるので、セキュリティを意識して学習に臨むこと。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	情報セキュリティの基礎知識(1)	情報セキュリティの目的と考え方、情報セキュリティの重要性、脅威と脆弱性、不正と攻撃のメカニズムなど
2	情報セキュリティの基礎知識(2)	サイバー攻撃手法(パスワードに関する攻撃、バッファオーバフロー攻撃、XSS・CSRF攻撃、DNSに対する攻撃、標的型攻撃、ソーシャルエンジニアリングなど)
3	情報セキュリティ技術(1)	暗号化技術(共通鍵暗号方式、共通鍵暗号方式、ハッシュ関数など)
4	情報セキュリティ技術(2)	認証技術(認証とは、デジタル署名)、利用者認証・生体認証、公開鍵基盤など
5	情報セキュリティマネジメント(1)	情報セキュリティ管理、情報セキュリティ諸規程、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)、情報セキュリティ継続など
6	情報セキュリティマネジメント(2)	リスク分析と評価、インシデント管理、情報セキュリティ組織・機関など
7	情報セキュリティ対策(1)	人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策など
8	情報セキュリティ対策(2)	セキュリティ実装技術(セキュアプロトコル、認証技術、ネットワークセキュリティ、データベースセキュリティ、アプリケーションセキュリティなど)
9	法務	知的財産権、セキュリティ関連法規、労働・取引関連法規、その他の法律など
10	マネジメント(1)	システム監査、内部統制
11	マネジメント(2)	サービスマネジメント(SLA)、サービスマネジメントシステムの計画及び運用、パフォーマンス評価及び改善、サービスの運用、ファシリティマネジメント
12	マネジメント(3)	プロジェクトマネジメント(統合、ステークホルダ、スコープ、資源、時間、コスト、リスク、品質、調達、コミュニケーション)
13	ストラテジ(1)	企業活動(組織論、業務分析・データ利活用、会計・財務)
14	ストラテジ(2)	システム企画(システム化計画、要件定義、調達計画・実施)
15	ストラテジ(3)	システム戦略(情報システム戦略、業務プロセス、ソリューションビジネス、システム活用促進・評価)
16	前期試験期間	–

備　考	情報セキュリティ担当者として勤務経験のある教員が、実務経験を活かして講義を行う

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	就職講座B	分　類	教養科目、必修科目
担　当	橘　純平		
テキスト（出版社）	これが本当のSPI3だ！2027年度版（講談社）		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	30%	0%	0%	30%	0%	40%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

就職活動におけるSPI試験対策を行う。

2. 授業の目標（検定取得など）

SPIの非言語能力分野（主に計算問題）に焦点を当てつつ、基礎的な計算を学びSPI対策を行う。

3. 注意点・要望

授業資料および教科書を使用し、反復学習を心がけること。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	SPI非言語能力問題対策（1）	オリエンテーション
2	SPI非言語能力問題対策（2）	仕事算
3	SPI非言語能力問題対策（3）	鶴亀算
4	SPI非言語能力問題対策（4）	小テストおよびワーク(1)
5	SPI非言語能力問題対策（5）	損益算
6	SPI非言語能力問題対策（6）	速さ・時間・距離
7	SPI非言語能力問題対策（7）	小テストおよびワーク(2)
8	SPI非言語能力問題対策（8）	順列・組み合わせ
9	SPI非言語能力問題対策（9）	確率
10	SPI非言語能力問題対策（10）	小テストおよびワーク(3)
11	SPI非言語能力問題対策（11）	代金の生産
12	SPI非言語能力問題対策（12）	割合・比
13	SPI非言語能力問題対策（13）	小テストおよびワーク(4)
14	SPI非言語能力問題対策（14）	総まとめ
15	問題解決技法(1)	グループワークを通じての課題解決能力養成(1)
16	後期試験期間	効果測定

備　考	–

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	Office演習Ⅰ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	森廣　永江		
テキスト（出版社）	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト& 問題集　（FOM出版）		
参考資料	–		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す。

2. 授業の目標（検定取得など）

Microsoft Office Specialist　Excel2019

3. 注意点・要望

・単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること。
・毎回テキストを忘れないようにすること。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習(1)	セルやセル範囲のデータの管理(1)
3	Excel2019 演習(2)	セルやセル範囲のデータの管理(2)
4	Excel2019 演習(3)	セルやセル範囲のデータの管理(3)
5	Excel2019 演習(4)	出題範囲(2)　確認問題
6	Excel2019 演習(5)	ワークシートやブックの管理(1)
7	Excel2019 演習(6)	ワークシートやブックの管理(2)
8	Excel2019 演習(7)	ワークシートやブックの管理(3)
9	Excel2019 演習(8)	出題範囲(1)　確認問題
10	Excel2019 演習(9)	テーブルとテーブルのデータの管理(1)
11	Excel2019 演習(10)	テーブルとテーブルのデータの管理(2)
12	Excel2019 演習(11)	テーブルとテーブルのデータの管理(3)
13	Excel2019 演習(12)	出題範囲(3)　確認問題
14	Excel2019 演習(13)	数式や関数を使用した演算の実行(1)
15	Excel2019 演習(14)	数式や関数を使用した演算の実行(2)
16	Excel2019 演習(15)	数式や関数を使用した演算の実行(3)

備　考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	Office演習Ⅱ	分　類	専門科目、必修科目
担　当	森廣　永江		
テキスト（出版社）	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト& 問題集　（FOM出版）		
参考資料	–		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す。

2. 授業の目標（検定取得など）

Microsoft Office Specialist　Excel2019

3. 注意点・要望

・繰り返し問題演習を行うこと。
・毎回テキストを忘れないようにすること。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	Excel2019 演習(1)	数式や関数を使用した演算の実行(4)
2	Excel2019 演習(2)	出題範囲(4)　確認問題
3	Excel2019 演習(3)	グラフの管理(1)
4	Excel2019 演習(4)	グラフの管理(2)
5	Excel2019 演習(5)	グラフの管理(3)
6	Excel2019 演習(6)	出題範囲(5)　確認問題
7	Excel2019 演習(7)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(1)
8	Excel2019 演習(8)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(2)
9	Excel2019 演習(9)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(3)
10	Excel2019 演習(10)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(4)
11	Excel2019 演習(11)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(5)
12	Excel2019 演習(12)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(6)
13	Excel2019 演習(13)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(7)
14	Excel2019 演習(14)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(8)
15	Excel2019 演習(15)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(9)
16	Excel2019 演習(16)	模擬試験プログラム、練習問題を利用しての試験対策(10)

備　考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	自己啓発Ⅰ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	杉山　剛		
テキスト（出版社）	–		
参考資料	–		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

自己を見つめ、長所を探す。様々な事例を考察していく中で、就職活動等に役立つ啓発を行い、強い意志を育てる。

2. 授業の目標（検定取得など）

指示したグループ内で話ができるようにする。客観的長所や課題を言語化し、2分間自己PRができる。自信につなげる。

3. 注意点・要望

授業ファイルを携行してください。教科名ほど堅苦しくありませんが、しっかり出席してください。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	最後の学校としての認識	FJBの歩き方
2	SPI適性検査(1)	検査
3	適性検査での注意点	前向き思考について考えてみる
4	日本人の言語能力	言葉とコミュニケーション、分析の予想を立てる
5	SPI適性検査(2)	性格適性の採点　タイプ別分析
6	SPI適性検査(3)	客観的長所や自己への課題を探す
7	自己PR	2分間のスピーチができる構成を考える
8	啓発の方向性(1)	あいさつの意味を考える
9	啓発の方向性(2)	見逃している「身の回りのこと」から心のありかたを考える①
10	啓発の方向性(3)	If Ⅰ were youという考え方
11	啓発の方向性(4)	見逃している「身の回りのこと」から心のありかたを考える②
12	啓発の方向性(5)	成人になる前に知っておきたいこと
13	発想と実践(1)	一流放送作家が行う発想法(1)　やってみなはれ演習の意図
14	発想と実践(2)	一流放送作家が行う発想法(2)　プロに会って拘りを聞く
15	発想と実践(3)	夏のナイストライ
16	まとめ	まとめ

備　考	–

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	自己啓発Ⅱ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	杉山　剛		
テキスト（出版社）	–		
参考資料	–		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

自己を見つめ、長所を探す。様々な事例を考察していく中で、就職活動等に役立つ啓発を行い、強い意志を育てる。

2. 授業の目標（検定取得など）

指示したグループ内で話ができるようにする。客観的長所や課題を言語化し、2分間自己PRができる。自信につなげる。

3. 注意点・要望

授業ファイルを携行してください。教科名ほど堅苦しくありませんが、しっかり出席してください。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	広告心理学	若幸祭でのナイストライ
2	プロ意識とは	自分が見ているという考え方
3	プロの条件	アルバイトと正社員の境界線とは
4	失敗から学ぶこと	失敗して、先輩やお客様が教えてくれたこと
5	仕事と使命	動物病院から教わったこと
6	プロならではの細かい工夫	超一流ホテルの手法から学ぶ
7	マルコムボルドリッジ賞	百貨店の神様が伝える3つの親切
8	人を魅了する心を育てる	吾以外皆吾師
9	人事の正体(1)	人事がもつ視点(1)
10	人事の正体(2)	人事がもつ視点(2)
11	人事の正体(3)	決め手となるスペシャル質問
12	人として(1)	心の葛藤の中で得た「情けは人のためならず」
13	人として(2)	自分の弱さを認めた強さとは
14	人として(3)	命を正しく使う
15	人として(4)	「大人の条件」について考えてみる
16	まとめ	まとめ

備　考	–

ネットワークセキュリティ科	1年

【前期】

科　目	社会人基礎力Ⅰ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	–		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事の運営により養う。

2. 授業の目標（検定取得など）

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上

3. 注意点・要望

「モメていない」＝真剣ではない証拠、「失敗していない」＝チャレンジしていない証拠　社会に出る前に真の協調性を学ぶ。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	社会人基礎力とは	社会人基礎力入門書を読み、今後の成長展望を立てる
2	能力の実践(1)	企画を立てる
3	能力の実践(2)	予算案を作成する
4	能力の実践(3)	企画・予算・収支を発表する
5	社会人基礎力評価(1)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
6	能力の実践(4)	各セクションに分かれて活動(1)
7	能力の実践(5)	各セクションに分かれて活動(2)
8	能力の実践(6)	各セクションに分かれて活動(3)
9	能力の実践(7)	各セクションに分かれて活動(4)
10	社会人基礎力評価(2)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
11	能力の実践(8)	各セクションの発表
12	能力の実践(9)	各セクションに分かれて活動(5)
13	能力の実践(10)	各セクションに分かれて活動(6)
14	能力の実践(11)	各セクションに分かれて活動(7)
15	社会人基礎力評価(3)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
16	前期試験期間	–

備　考	システムエンジニアを経験した教員が、実務経験を活かして社会人に必要な力の向上を指導する

ネットワークセキュリティ科	1年

【後期】

科　目	社会人基礎力Ⅱ	分　類	教養科目、必修科目
担　当	柏木　貴大		
テキスト（出版社）	–		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%

単位数	2

1. 授業の概要

経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事の運営により養う。

2. 授業の目標（検定取得など）

リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上

3. 注意点・要望

「モメていない」＝真剣ではない証拠、「失敗していない」＝チャレンジしていない証拠　社会に出る前に真の協調性を学ぶ。

4. 関連科目

–

週	テーマ	内　容
1	能力の実践(12)	各セクションに分かれて活動(1)
2	能力の実践(13)	各セクションに分かれて活動(2)
3	能力の実践(14)	各セクションに分かれて活動(3)
4	社会人基礎力評価(4)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
5	能力の実践(15)	各セクションに分かれて活動(4)
6	能力の実践(16)	各セクションに分かれて活動(5)
7	能力の実践(17)	各セクションに分かれて活動(6)
8	社会人基礎力評価(5)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
9	振り返り(1)	成功・失敗の要因、次年度への改善
10	振り返り(2)	各セクション発表
11	チームワーク(1)	発信力をつけるには
12	チームワーク(2)	傾聴力をつけるには
13	チームワーク(3)	柔軟性をつけるには
14	チームワーク(4)	状況把握力をつけるには
15	チームワーク(5)	規律性をつけるには
16	後期試験期間	–

備　考	システムエンジニアを経験した教員が、実務経験を活かして社会人に必要な力の向上を指導する